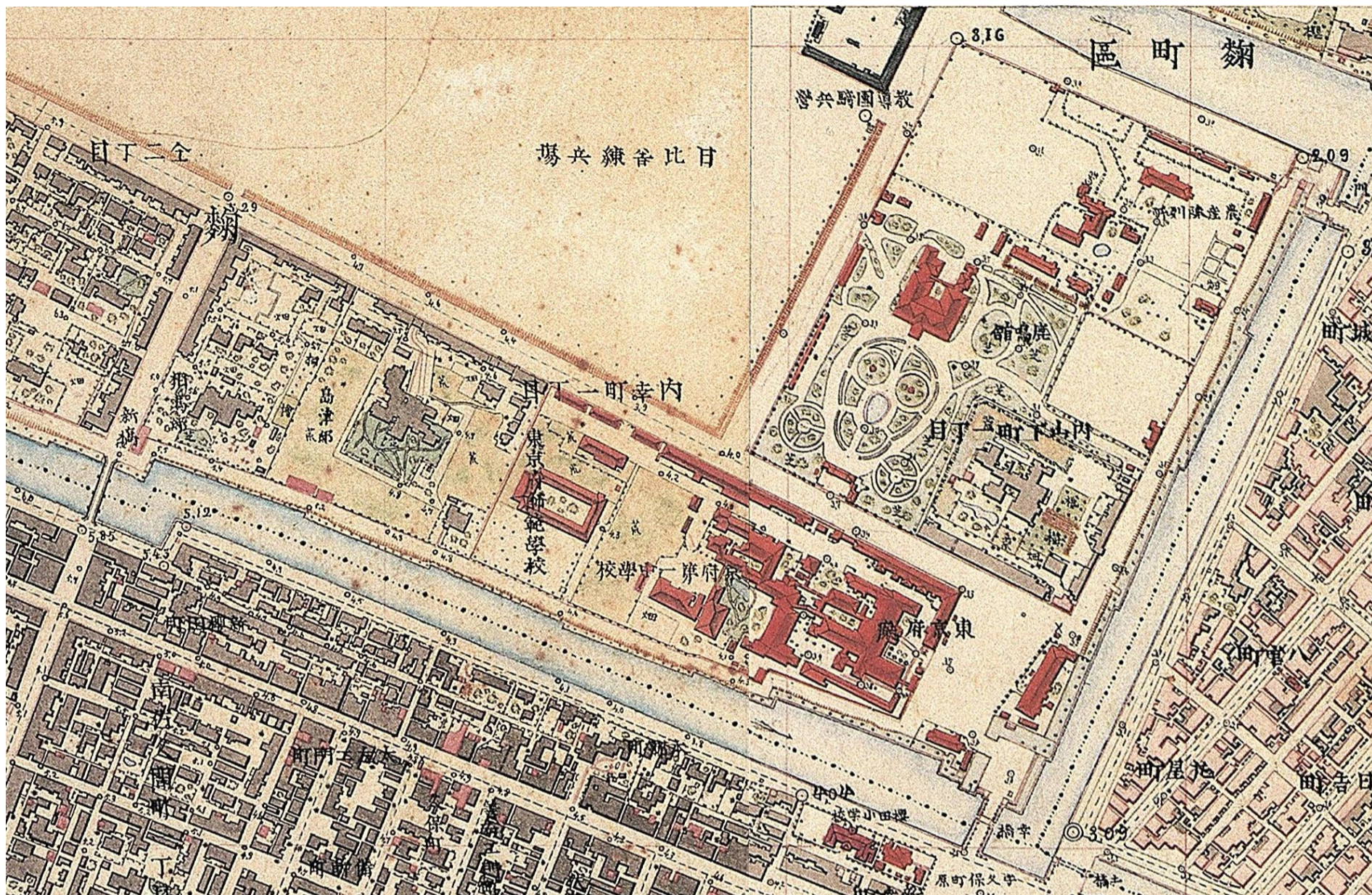


# 初代東京府庁舎



参謀本部陸軍部測量局 五千分一東京図測量原図(国土地理院所蔵)

明治17年(1884)3月測量

最初の東京府庁舎は、幸橋門の内側(現千代田区内幸町1丁目)に位置していました。

府庁舎の北側には華やかな舞踏会が開かれた鹿鳴館、南東方向には横浜からの玄関口となる新橋ステーション、東方向には西洋風の街並みが続く銀座煉瓦街が位置していました。

また、府庁舎の西側には、東京府第一中学校(東京都立日比谷高等学校の前身)や東京府師範学校(東京学芸大学の前身)など、近代的な教育機関も隣接しています。

古風な大名屋敷を転用した東京府庁舎ではありましたが、実は文明開化の最先端地区に立地していたのです。